

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）、新詳歴史総合（浜島書店））

教科 0 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数
授業オリエンテーション	授業の進め方・評価の方法等指導。中学までの既習内容（都道府県・県庁所在地など）の確認と復習。	③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・学習の振り返り			○	2
A ヨーロッパの主権国家体制の形成と海外進出について理解させる。	アジア3帝国の繁栄を理解している。清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	3
B 欧米列強がどのように植民地化を進めていったかを理解する。	「東方問題」に関係する国々と、各国の論理を理解している。ビスマルク外交の基本方針が、どのように反映されたかを考察し、表現している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	10
前期 47都道府県世界の国名と主要都市ふりかえり	日本及び世界の主要都市についての復習	③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・学習の振り返り			○	1
C 明治政府が、諸外国とどのような関係を築こうとしたかをまとめている。	新政府の方針を比較して共通点・相違点を考察している。岩倉使節団が、何を視察して帰国したのか追究しようとする。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	3
D 明治政府の条約改正が、東アジアの国際関係にどのような影響を与えたかを理解している。	帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。また、支配されたアフリカ・太平洋諸地域の視点からもとらえて追究しようとしている。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	6
期末考査			○	○		1
E 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。	バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、東方問題が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	9
F 第二次世界大戦のおこった背景を理解し、人びとの生活がどうであったか理解している。	大戦のおこった背景を理解し、政治や社会情勢だけでなく、人びとの生活にどれほど影響を与えたかを考察する。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	9
中間考査			○	○		1
G 2つの大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか理解している。	国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応していくかを考察している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	5
後期 H 東西冷戦が続く一方、「第三世界」の形成が、国際社会に与えた影響を理解している。	冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程・結果を追究しようとしている。アフリカ・アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り	○	○	○	10
I ソ連の崩壊と経済のグローバル	ゴルバチョフによる新思考外交を	①知識・技能				

<p>化について、その影響や懸念される点を考察している。</p>	<p>契機として冷戦が終結したことを理解している。グローバル化のなかで新たに登場した、新自由主義について理解している。</p>	<p>定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り</p>	○	○	○	5
<p>J 地域紛争やテロ、難民など現代の諸課題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。</p>	<p>諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。</p>	<p>①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査 ③主体的に学習に取り組む態度 小テスト・ワーク課題・学習の振り返り</p>	○	○	○	5
<p>学年末考査</p>			○	○		1
						合計
						70

